



Naeba

Vol.14

April.2018

平成30年度 入職式・新人研修



新入職員代表 決意表明
佐野美稀子さん



2018年4月3日～5日、新潟県南魚沼市「南魚沼市民会館」において、平成30年度入職式及び新人研修が行われました。

今年度は新卒者35名の入職があり、最近入職された6名の中途入職者も参加しています。

併せて、永年勤続者37名の表彰も行われました。



みさと苑 特養転換! 4/1

思い出の写真が
集まり「25」の
文字が浮かぶ。



サクソと
ピアノの演奏が
花を添える



施設外観



津南事業部次長 **根津佳代子**

平成6年の開設から二回り、丸24年が経過いたしました『介護老人保健施設みさと苑』が、この4月1日に『特別養護老人ホームみさと苑』として新たなスタートを切りました。

同じく、通所リハビリテーションは『みさと苑デイサービスセンター』と生まれ変わりました。それぞれ、お客様・地域の皆様のご期待ご要望に応えられるよう、精一杯取り組んで参ります。変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

バルーンリリース



新しくできた白壁に
みさと苑25年の歴史を投影

新生さくら館 新築移転OPEN! 3/1



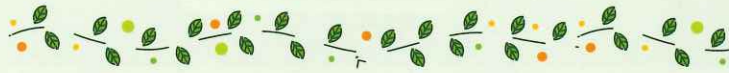
千葉事業部次長・さくら館施設長 **松野和子**

平成30年3月1日 新生さくら館が動き始めました。

59名のお客様も無事に新しい居室に移られ、最初の2～3日はお客様も職員も新しい施設での環境に戸惑いと不安がありましたが、1週間が経ち、少しずつではありますが平穏な日々を取り戻しつつあります。

これから毎日のように新しいお客様をお迎えします。大勢のお客様と職員、そして地域と共に「笑顔の花が咲くように」と願いを込め、新生さくら館は走り続けます。





「上質なケアは健やかな心と身体から」～苗場福祉会の産業保健活動～

健康経営の考え方に基づき、2013年法人管理部に保健師を配置して産業保健活動を展開しています。29年度「元気いきいき健康企業」に登録されました。

保健師の活動のひとつである移動保健室をご紹介します。

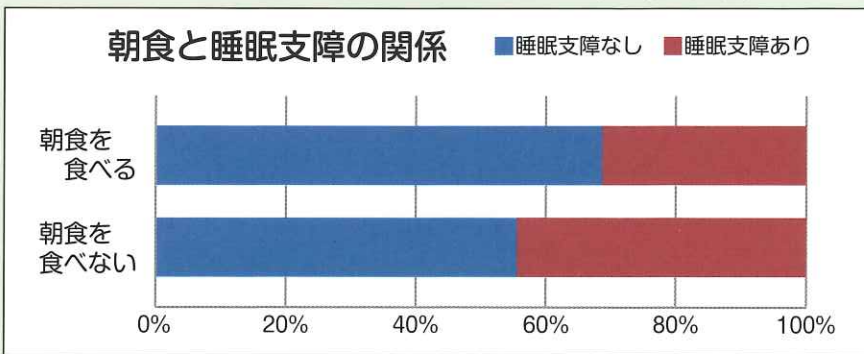
移動保健室では、保健師が定期的に各施設を巡回して健康相談や保健指導を行っています。具体的には、健康診断やストレスチェックの結果を説明しながら職員一人ひとりに渡したり、より健康になるために取り組めることを一緒に考えたりしています。

中でも、新入職員面談をととても大事にしています。これは、新入職員に保健師の存在を知ってもらい、食事や睡眠などの生活リズムや体調の確認、不安の軽減を図ることを目的としています。

2017年度は53名の新卒入職者と面談を行いました。その中で、

- 朝食を食べていない…11%
- 睡眠に何らかの支障（寝つきが悪い、途中で度々目が覚めるなど）がある…31%

注目したのは、睡眠支障の訴えがあった人たちの中に朝食を食べていない人が多かったことです。



朝食の欠食頻度が高いあるいは朝食の摂取量が少なく昼食や夕食の摂取量が多い人は、睡眠覚醒リズムが不規則になりやすく、朝食が快眠に対して重要である事が報告されています。そこで、どうすれば朝食が摂れるようになるかを一緒に考えます。

また、施設でも朝食が摂れるような工夫をしています。

朝ごはんプロジェクト

朝ごはんを食べずに仕事に来る職員が最近多くなりました。

健康管理の為、また体調を崩さない為にもケアカレッジでは『朝ごはんプロジェクト』を検討しています。おにぎりや具だくさんの味噌汁心も体もホットするそんな朝ごはんを提供したいと考えています。



面談の感想



関 郁 弥

移動保健室では渡辺保健師と仕事のことや、普段の生活の様子などを話しました。まだ職場の環境に慣れずにいた私の悩みを聞いてくださり、睡眠や食生活のアドバイスを頂きました。移動保健室に参加したことで、不安が減り現在も熱意をもって仕事に取り組んでいます。



健康倶楽部ゆざわの取り組みを事例発表してきました

平成30年
3月5日(月)

平成29年度 厚生労働省老人保健健康増進等事業
(品川のフクラシア品川クリスタルスクエア2Fにて)

「認知症の人の行方不明や事故等の未然防止のための見守り体制構築に関する調査研究事業」事業報告会が行われました。今回はポスター発表をしてきました。

報告会では体制構築を進めようとしている自治体2市町村のパイロット報告と効果的な取り組みを展開している全国7市町村のポスター発表が行われ情報交換をしました。

健康倶楽部ゆざわでは行方不明を防ぐために、目撃場所を記したお出かけマップを作成し南魚沼警察署のSOSネットワークへの登録支援に加え、個別で時計型携帯端末や携帯電話のGPS機能を活用し家族と事業所が協力して見守り支援の成果をあげています。また行方不明探索訓練も定期的を実施しています。

これからも町の中の安心の拠点として、取り組みの水平展開をするとともに認知症ケアの推進に力を入れていきます。

今回の報告については下記URLで配信されています。

DCネット お知らせ 新着情報 2018年03月07日 研究報告会

→<https://www.dcnet.gr.jp/info/detail/?INFORMATION=330>



すみえ さと

「純恵の郷」が
仲間に加わりました。



- 名称：介護老人保健施設純恵の郷
- 住所：千葉県千葉市中央区南生実町590-1
- TEL：043-305-0210
- 開設：平成16年10月1日
- 定員：入所 84名 通所リハビリテーション 30名

事務長 辰巳 修

はじめまして。この度平成30年3月28日より苗場福祉会の仲間に入りました介護老人保健施設純恵の郷です。

当施設は千葉県の県庁所在地がある千葉市中央区に平成16年10月1日に湖山医療福祉グループでは、初めての全室個室84床、デイケア20名の介護老人保健施設として開設し、その後30名に定員を増加いたしました。

常にお客様主体の質の高い介護サービスの提供を心がけ、地域に開かれた施設としてお客様のニーズにきめ細かく応える施設を目指して日々奮闘中です。

また、若い？看介護長を中心にお客様ひとりひとりの状態や目標に合わせたチームケアをより確立させるため、教育、研修を通じ個々のレベルアップを目指しております。

「できない理由を考えるよりもできる理由を自ら考える」を合言葉に在宅ケア支援の拠点となる事を目指し、お客様、ご家族様が快適に自分らしい「今」が送れるよう支援して参ります。

今後とも同法人の仲間として一緒に歩み続けて参ります。どうぞよろしくお願ひします。